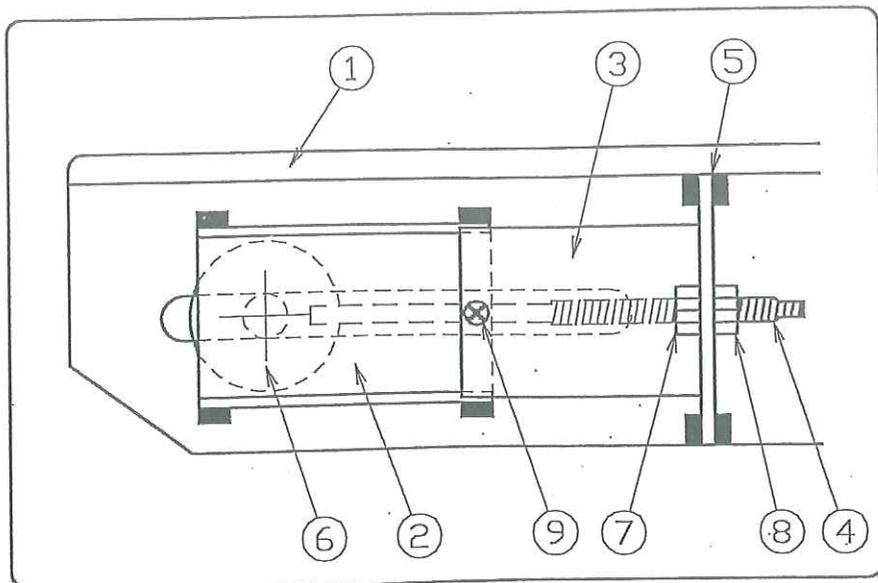


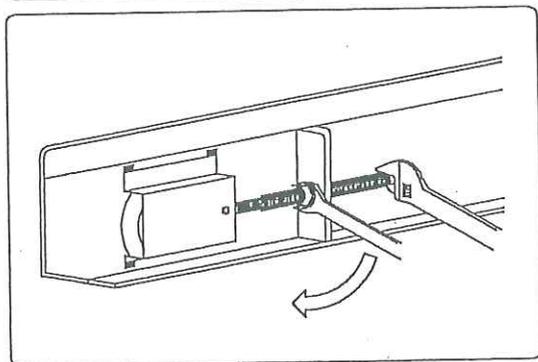
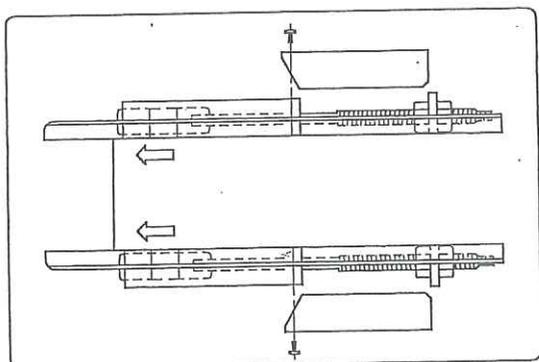
各部の名称 1



- ① 側板
- ② 軸受ハウジング
- ③ 軸受ハウジングカバー
- ④ テンションボルト
- ⑤ テンションステー
- ⑥ 軸受
- ⑦ ロックナットA (M8)
- ⑧ ロックナットB (M8)
- ⑨ カバー止めネジ

ベルトテンション調整

出荷前テスト時にテンション調整を行っていますが、搬送中等に多少ベルトが伸びる事がございます。その際、下記の手順に従って増し締めを行って下さい。



- 1) ⑨を取り、③を外して下さい。(両側共)
- 2) ⑧を十分に緩め、④の平らな部分をペンチ等で押さえます。
- 3) ⑦を締め付け方向へ回します。
- 4) 両側共平均して押し込み、⑧を軽くロックします。
- 5) 電源を投入し、コンベアを運転して下さい。
- 6) 片側が著しく押し込まれている場合、ベルトが蛇行する恐れがあります。ベルトが側板に強く当たっている側の⑦を更に回し、調整して下さい。
- 7) ベルト上を軽く押さえ、スリップが発生しなくなるまで調整して下さい。
- 8) 調整が終わりましたら、⑧をしっかりロックし③を止めます。

- ※ 注意1・蛇行調整はコンベアを運転させながら行います。巻き込み等に注意して行ってください。
- ※ 注意2・運転期間が経過しますとベルト自体が伸びてきますので、定期的にベルトの張り具合を点検しテンションの調整を行ってください。ベルトが伸びた状態でご使用になりますとベルト・本体各所の接触部分摩耗等トラブルの原因となる場合があります。
- ※ 注意3・必要以上にベルトに張力をかけますと、負荷が大きくなり著しく寿命が短くなります。張りすぎに注意してください。